

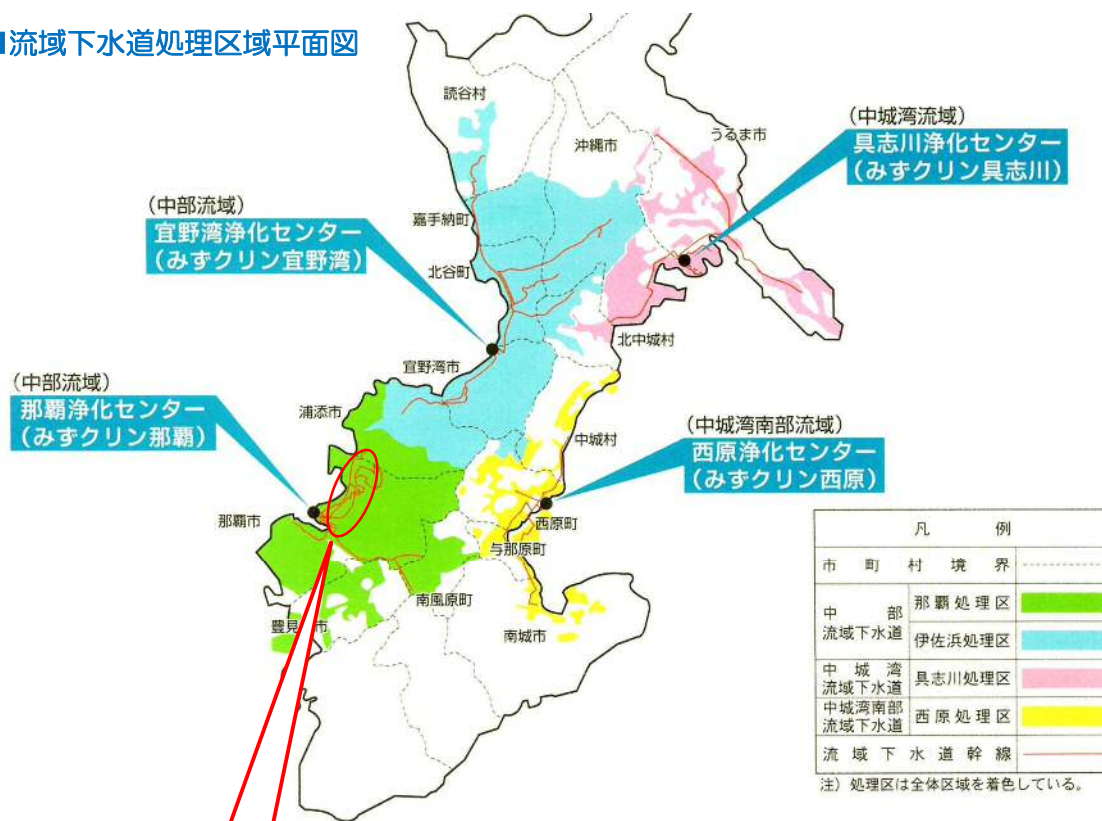
安謝幹線のルート追加の概要

1. 中部流域下水道事業(那覇処理区)の概要

中部流域下水道は、本土復帰前の昭和39年に米国民政府が策定した「沖縄中南部統合下水道計画」に基づき、昭和41年に事業に着手し、復帰後、昭和48年に「沖縄県中部流域下水道事業」として建設大臣の認可を受けました。

中部流域下水道は、那覇処理区と伊佐浜処理区の2処理区で構成され、那覇処理区的那覇浄化センターは、昭和44年より供用を開始、那覇市・浦添市・豊見城市・南風原町の3市1町の下水を収集し、現在、約40万人以上の住民が下水道を利用しています。

■流域下水道処理区域平面図



安謝幹線
L=約5km

■関連市町



那覇市



浦添市



南風原町



豊見城市

2. 安謝幹線のルート追加

安謝幹線は、那覇市・浦添市に整備された流域下水道幹線であり、勢理客ポンプ場、曙ポンプ場を経て、南風原幹線、那覇幹線と合流した後、那覇浄化センターに流入する幹線で、昭和 55 年 1 月に都市計画決定を行っています。

安謝幹線の勢理客ポンプ場から曙ポンプ場間は一部、圧送管となっており、地震時の災害により管渠が破損した場合、多大な影響を及ぼすこととなります。

このことから、災害時のリスクを分散するため、安謝幹線を 2 本のルートで構成する二条化を行います。そのため、安謝幹線の 2 ルート目を都市計画へ追加するものです。

■位置図



■計画図



3. 下水道管の布設工事のスケジュール案

布設工事のスケジュールを以下に示します。

年度 項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
法手続き 都市計画審議会等	→				
設 計		→			
布設工事			→	→	→

※最短のスケジュールを示していますが、社会情勢や他事業との関連により変更する場合があります。